

情報公開文書

研究課題名	当院における院内緊急コールシステムの課題（第2報）
所属(診療科等)	長崎みなとメディカルセンター 救命救急センター科
研究責任者(職名)	石井美保子
研究期間	2020年4月14日 ～ 2020年6月1日
研究目的と意義	患者急変に対して、当院ではハートコールで対応している。第1報の研究では、患者急変に早期に気づいており、対応できていることが分かった。しかし、ハートコールは年毎に増加しており、RRS（院内急変対応システム）構築が必要と考えられる。そのためハートコール症例を振り替える事でRRSシステムの構築への一助となると考えた。
研究内容	●対象となる患者さん
	2018年1月1日～2019年12月31日間で当院でハートコールとなった症例
	●利用する情報
	診療録よりハートコール発動までの患者の状態、バイタルサイン、医師、看護師の記録より患者の状態の変化の伴い看護師の対応や観察内容
	●研究方法
	カルテを振り返り見直すことで、上記情報を用いて、ハートコール発動するまでの患者の状態、変化した内容と対応方法など情報を得て、心停止になる状態を知ることによって早期介入とハートコール整備とRRSへの構築に役立てるようにする。
問い合わせ先	<p>所属：長崎みなとメディカルセンター 研究開発センター</p> <p>住所：長崎市新地町6番39号</p> <p>電話：095（822）3251 （内線4122）</p> <p>受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）</p>

研究課題名	特定行為研修修了後の活動と効果
所属(診療科等)	長崎みなとメディカルセンター 救急部
研究責任者(職名)	増山純二(看護師)
研究期間	2016年12月1日 ~2016年12月31日
研究目的と意義	長崎みなとメディカルセンター、特定看護師の救急医療領域の活動を振り返り、その効果と課題について検討します。
研究内容	●対象となる患者さん
	特定看護師の勤務時、非勤務時に研究期間の間で、かつ輪番日にwalk inで来院された患者さん(小児科、産婦人科、予定外来患者は除き、また、深夜勤務帯に来院した患者は除く)
	●利用する情報
	①トリアージ実施の有無 ②トリアージ待ち時間 ③診察待ち時間 ④特定看護師のトリアージ実施 ⑤特定看護師の初期対応の実施 ⑥特定看護師のトリアージ時の検査指示の実施
	●研究方法
	1) 特定看護師の勤務時と非勤務時の比較検討 ①トリアージ実施率 ②トリアージ待ち時間 ③診察待ち時間 2) 特定看護師の実践評価 ①トリアージ実施率 ②初期対応の実施率 ③トリアージ時の検査指示の実施率
問い合わせ先	所属：長崎みなとメディカルセンター 研究開発センター 住所：長崎市新地町6番39号 電話：095(822)3251 (内線4122) 受付時間：月～金 9:00～17:00(祝・祭日を除く)

研究課題名	長崎みなとメディカルセンターにおける院内緊急コール事例の分析と課題
所属(診療科等)	長崎みなとメディカルセンター 救急病棟
研究責任者(職名)	石井 美保子(看護師)
研究期間	2018年 5月 14日 ~ 2018年 6月 31日
研究目的と意義	患者急変時において、当院ではRRS(院内救急対応システム:Rapid Response System)の体制はなく、ハートコールでのみで対応している。平成27年、28年度は6件と少なく、第一発見者の迅速な起動が必要と考え、教育の機会に周知徹底を図った。平成29年は24件に増加したことから、24件のハートコールの事例を検討し、分析することで今後の課題を見出した。
研究内容	<p>●対象となる患者さん</p> <p>長崎みなとメディカルセンターに2017年1月1日~2017年12月31日の間に入院しており、ハートコール症例となった患者さん</p>
	<p>●利用する情報</p> <p>診療録より、ハートコール発動までの、患者の入院時病名、バイタルサイン、看護師の記録から注意している状態や観察内容について抽出する。</p>
	<p>●研究方法</p> <p>上記情報を用いて、ハートコールを発動するまでの患者の状態の変化と観察内容、何が変化しているのか情報を取り、心肺停止になる以前のバイタルサインの変化をみることで、早期介入ができる状態を知り、教育へ用いる。</p>
問い合わせ先	<p>所属:長崎みなとメディカルセンター 研究開発センター</p> <p>住所:長崎市新地町6番39号</p> <p>電話:095(822)3251 (内線4122)</p> <p>受付時間:月~金 9:00~17:00(祝・祭日を除く)</p>

研究課題名	救急外来受診患者におけるSepsis-3 criteriaの臨床的妥当性に関する検討
所属(診療科等)	長崎みなとメディカルセンター 救急科
研究責任者(職名)	吉本広平(医師)
研究期間	2018年8月23日 ~ 2019年2月28日
研究目的と意義	当院救急外来を受診した患者に対する、新敗血症診断基準(Sepsis-3 criteria)の臨床的妥当性を検討します
研究内容	●対象となる患者さん 2017年1月~12月の間に当院救急外来を受診した患者さん
	●利用する情報 年齢、性別、診断名、受診時のバイタルサイン(意識状態、呼吸数、血圧)、検査結果(血液検査)、酸素投与の有無と酸素濃度、維持透析患者の有無 ・血液学的検査: WBC、Plt ・血液生化学検査: Cre、Bil ・血液ガス検査: PaO ₂ 、PaCO ₂ 、乳酸値
	●研究方法 上記の情報をカルテより収集し、新敗血症診断基準(Sepsis-3)と旧敗血症診断基準(Sepsis-1)の性能を比較検討します。
問い合わせ先	所属: 長崎みなとメディカルセンター 研究開発センター 住所: 長崎市新地町6番39号 電話: 095(822)3251 (内線4122) 受付時間: 月~金 9:00~17:00(祝・祭日を除く)

研究課題名	院内トリアージにおけるqSOFAスコアの有用性
所属(診療科等)	長崎みなとメディカルセンター 救急部
研究責任者(職名)	増山純二(看護師)
研究期間	2018年8月23日 ~ 2018年9月30日
研究目的と意義	院内トリアージにおけるqSOFAスコア(敗血症を把握するための指標)の有用性について検討します。
研究内容	●対象となる患者さん 2017年(1月~12月)、当院救急外来に来院され細菌感染症として治療された患者さん668名
	●利用する情報 年齢、性別、診断名、治療(抗菌薬)、身体所見、検査(WBCのみ)、転帰(死亡など)
	●研究方法 対象患者のトリアージ時のバイタルサインおよび血算から、SIRS(全身性炎症反応症候群)診断基準・qSOFAスコアを計算し、感染症患者への緊急度の判断について、すでに行ったトリアージ、診療、治療を振り返り統計学的検討を行います。
問い合わせ先	所属:長崎みなとメディカルセンター 研究開発センター 住所:長崎市新地町6番39号 電話:095(822)3251(内線4122) 受付時間:月~金 9:00~17:00(祝・祭日を除く)